

第41回

薬用植物園公開講座と観察会を開催しました。

第1部 公開講座

1つ目の講座では、現役の薬剤師である石垣栄一先生が「薬の自主管理」について、お話しくださいました。

石垣先生は、東日本大震災直後に岩手県にて薬剤師として支援活動にあたられました。そのときの経験から、「くすり」を服用している人が災害時に備えてどのような準備をしておけばよいのか、わかりやすくお話しくださいました。

自分が服用している「くすり」を知り、それを情報として保管しておくことが大切であることを強調され、またその具体的な保管方法をご紹介くださいました。また、災害時に代用品となる便利なものを、具体的にいくつか教えてくださいました。



249名ものご参加ありがとうございました。

2つ目の講座では、本学名誉教授の指田豊先生が「薬になる園芸植物」について、お話しくださいました。「体にいい」と普段食している果実に具体的にどのような効果があるのか、また果実よりも葉や種子に、より効果がある植物を知ることができました。さらに、一般に猛毒といわれている植物でも、その成分が薬として使用されているものがあることがわかりました。

昔の人は、経験的に食せる植物と有毒植物を知っていましたが、最近は有毒植物を誤って食して中毒を起こす事故が増えています。十分に注意を払うとともに、薬として使用する場合は、素人が自己判断をしないことを強調されていました。



石垣栄一先生

「東日本大震災に
学ぶくすりの
自己管理」



指田 豊先生

「薬になる
園芸植物」

第2部 植物園見学



次回(第42回薬用植物園公開講座と観察会)は、2015年6月上旬に開催の予定です。